

新有田市立病院基本構想の概要

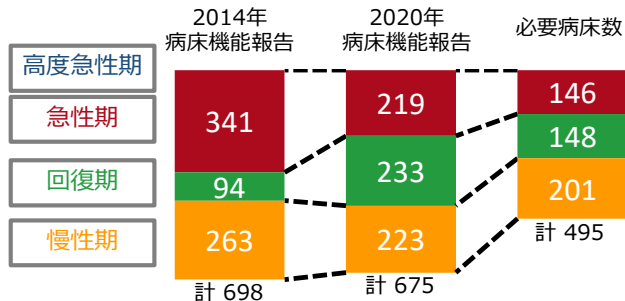
はじめに

現在の有田市立病院は、経年による施設設備の老朽化、汎用性の低さ、度重なる増改築で院内の動線が複雑で非効率な状態であるなど様々な課題を抱えており、有田保健医療圏唯一の公立病院として、多様化する医療ニーズや少子高齢化や人口減少といった社会情勢等の変化が顕著となってくるなかで、将来に向けて安定的、継続的に地域医療を担うことのできる新有田市立病院の整備が必要となっています。

有田市立病院を取り巻く環境

- ▶ 日本では、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上となる令和7年（2025年）に向けて、医療需要の変化が見込まれていることから、社会保障制度の持続可能性を確保するための改革が求められています。
- ▶ 和歌山県では、今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据え、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築するためには、医療機関の機能分化・連携を進めていく必要があることから、各地域における令和7（2025）年の医療需要と病床の必要量について、医療機能（高度急性期・急性期・回復期・慢性期）ごとに推計し、「地域医療構想」として策定しています。
- ▶ 有田市の総人口は約2.8万人（2015年）、高齢化率31.6%であり、2025年には約2.4万人（▲15%）まで減少する見込みとなっています。一方、75歳以上人口は2030年まで増加と見込まれています。有田圏域の他の市町村も同様の傾向にあり、2025年人口は約6.5万人で、2040年には5万人まで減少すると予測されています。（2025年比▲23%）75歳以上の人口は2025年にかけて1.2万人から1.4万人へと増加（2020年比+8%）と見込まれています。

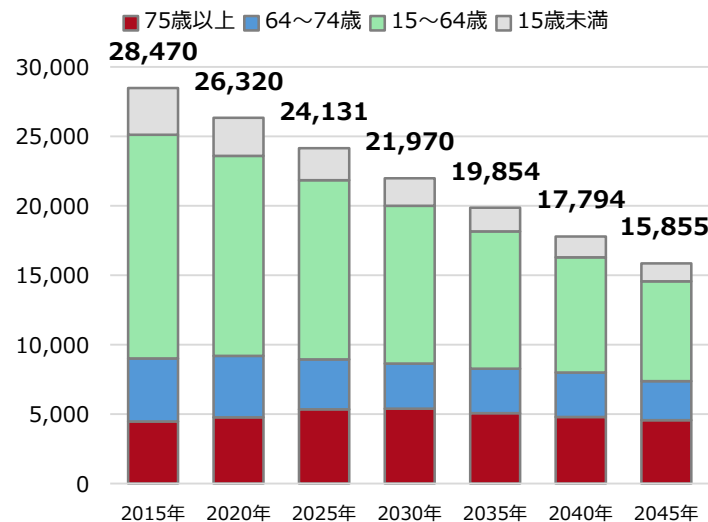
【和歌山県 地域医療構想（必要病床数）】



医療機能	2025年における医療需要（人/日）	2025年における必要病床数（床）
①高度急性期	0	0
②急性期	114	146
③回復期	133	148
④慢性期	185	201
合計	432	495

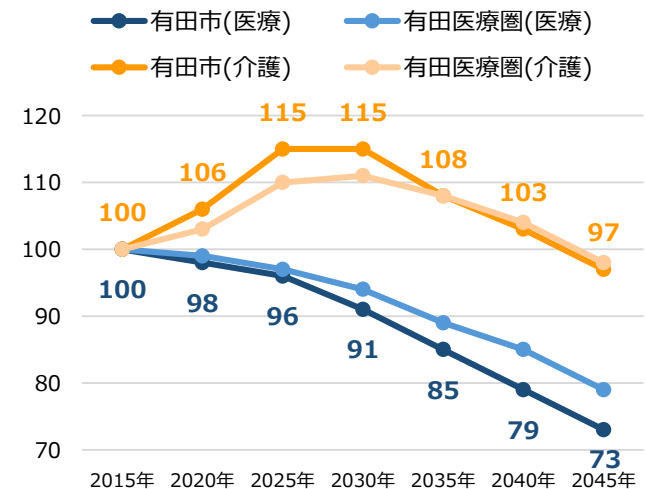
出典：和歌山県地域医療構想・令和2年度病床機能報告

【有田市 将来推計人口】



出典：国勢調査・国立社会保障人口問題研究所

【有田市・有田医療圏 医療・介護需要予測】



出典：日本医師会（地域医療情報システム）

新有田市立病院基本構想・方針

有田市立病院の基本理念である「良質な医療を行い、地域医療に貢献し、利用者から信頼される病院を目指します。」の実現はもとより、有田保健医療圏における現状を踏まえ、将来の有田市立病院に期待される機能や役割を果たすために、新有田市立病院の基本方針を以下のとおり定めます。

救急医療の充実

軽度・中等度の救急患者等の受入を行い、断らない救急体制の充実を図ります。

公立病院としての機能

新興感染症、災害医療、へき地医療など地域医療が維持・継続できるよう、必要な機能・体制を整備します。

在宅療養支援病院の機能

切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制を構築し、安心して在宅療養生活を送れるよう、機能充実を図ります。

総合診療と専門診療の融合

特定の疾患・臓器に限定せず幅広い診療を行う総合診療の体制を整備し、専門診療と協働し、地域ニーズに応えます。

回復期機能の整備

回復期リハビリテーション病棟を中心とし、安心して在宅復帰できるように医療機能を整備します。

保健・予防医療の充実

地域住民がいつまでも健康な生活が出来るように、保健予防活動の支援・充実を図ります。

在宅介護機能の強化

在宅で安心して生活できるよう、生活機能の維持・向上を図るために訪問看護、訪問・通所リハビリを行います。

新有田市立病院が 目指す姿



協力・連携

紹介・転院

急性期後の
患者受入

紹介・逆紹介

紹介・急変時
等の受入

他医療機関・介護・福祉・行政・関係機関等との連携

和歌山医療圏等

他医療機関・介護・福祉施設等

行政・関係機関（医師会等）

高度・先進医療

救急医療（三次）

救急医療（軽度・中等度等）

リハビリ(回復期)医療

地域包括ケアシステム構築

高度小児専門医療

周産期医療

入院医療

在宅医療・介護支援

災害・新興感染症等時の連携

新有田市立病院の機能・体制

病院機能	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 救急告示病院 ▶ 第二種感染症指定医療機関 ▶ 災害拠点病院 ▶ 認知症疾患医療センター（連携型） ▶ へき地医療拠点病院
入院機能	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 急性期一般病棟 40床 ▶ 感染症病床 4床 ▶ 地域包括ケア病棟（一般病床） 40床 ▶ 回復期リハビリテーション病棟（一般病床） 40床 <p>病床数計 124床</p>
診療科	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 内科（総合診療科） ▶ 循環器科 ▶ 脳神経外科 ▶ 外科 ▶ リハビリテーション科 ▶ 整形外科 ▶ 産婦人科 ▶ 小児科 ▶ 眼科 ▶ 耳鼻咽喉科 ▶ 泌尿器科 ▶ 皮膚科 ▶ 麻酔科
専門外来	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 発達相談外来 ▶ 遺伝外来 ▶ 睡眠時無呼吸外来 ▶ 補聴器外来 ▶ もの忘れ外来 等
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 1、2次救急の受入（軽度・中等度） ▶ 有田医療圏内の消防署との連携 ▶ 医師・特定ケア看護師等による医療体制
在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 在宅療養支援病院 ▶ 訪問診療 ▶ 訪問看護/訪問リハビリテーション ▶ 通所リハビリテーション

リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 病棟リハビリテーション（休日等リハビリテーション） ▶ 外来リハビリテーション ▶ 通所リハビリテーション ▶ 在宅復帰支援
予防医療	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 健診センター/人間ドック/脳ドック ▶ 健康診断（企業健診、生活習慣病予防健診等） ▶ 特定健診（がん検診等） ▶ 予防注射（インフルエンザ、肺炎球菌ワクチン、小児予防接種）
感染症対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 第二種感染症指定医療機関 ▶ 新興感染症等に対応した構造設備 ▶ 新興感染症等のまん延時には、県及び地域の医療機関と連携し、地域医療の維持、確保を行う。
分娩対応	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 妊婦健診 ▶ 子宮がん検診 ▶ 産科セミオープンシステム ▶ 助産院との連携等を充実 ▶ 産前産後ケア 等
医療連携	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 入退院支援センター・地域医療連携部門の強化、充実 ▶ 和歌山県立医科大学、医師会、市内外の医療機関との連携
その他	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 院外薬局 ▶ 定期的な健康教室、市民講座の開催 ▶ 病院広報誌等の発行 ▶ 市施策との連携 等

新有田市立病院建設計画

1. 新有田市立病院概要

- ▶ 延床面積 : 124床×80㎡/1床あたり=約10,000㎡
- ▶ 駐車場台数 : 約390台 (来院者240台、職員用150台)
- ▶ 病棟病床数 : 一般病棟 (一般病床+感染症病床) 44床
地域包括ケア病棟 40床
回復期リハビリテーション病棟 40床

2. 建設候補地

- ▶ 建設候補地の選定については、必要面積、市内位置関係、医療施設視認性、道路ネットワーク、医療圏連携 (アクセス)、公共交通等における利便性、周辺環境、防災と安全性を評価項目として、複数の候補地より『保田中学校跡地』といたしました。

3. 概算事業費

- ▶ 近年の公立病院の整備事例から建築単価を算出し概算事業費を試算したところ、55.2億円程度と見込まれます。この概算事業費は、現時点での試算です。今後の市況の変化を注視しつつ、今後策定する基本設計等の各段階において、具体的な整備内容を検討し、より詳細な事業費を算出します。

4. 整備スケジュール

	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)
基本構想	→					
基本設計・実施設計		→				
建設工事				→		
						開院

【建設候補地】



(面積 : 15,319㎡ 建ぺい率/容積率 : 70%/200%)

※最短での想定によるスケジュールのため変更になる場合があります。